

「ふくいスマートルール」推進運動

1 これまでの経緯

平成25年の「いじめ防止対策推進法」の施行により、昨年度「福井県いじめ防止基本方針」を策定した。これを受け、いじめの防止等に関係する機関および団体の連携を図る目的で、「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した。

協議会では、本県のおいじめの状況等（別紙参照）を基に、未然防止・早期発見・早期対応について協議を重ねてきた。その結果、発見しにくく、広域化・深刻化しやすいネットいじめ対策のための指針となるルールを作り、全県運動として取り組むこととした。

2 趣旨

近年、インターネット（PC、スマホ、携帯電話、ゲーム機等）を利用した通信（SNS、LINE、メール等）による、ネットいじめや依存症、学力の低下等、子どもたちの生活習慣の乱れによる弊害が問題視されている。これらの問題への対策として、インターネット等の適正利用に関する指針となる「ふくいスマートルール」（別紙参照）を策定する。

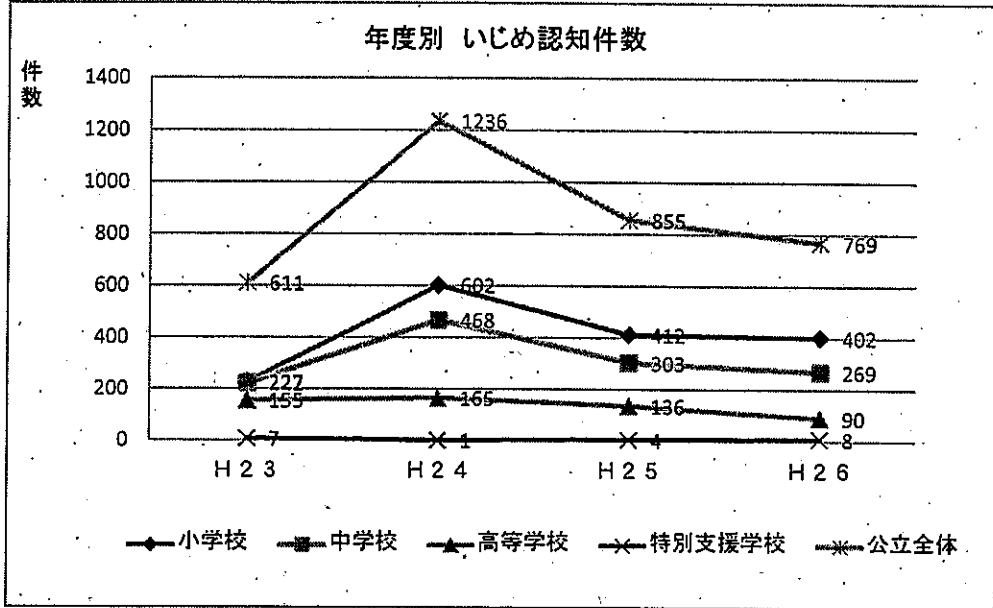
策定後は、「ふくいスマートルール」を基に、子ども・学校・保護者・地域が一体となり、より良いインターネットの利用方法について考える機会を設ける運動を推進する。

3 推進運動の主な内容

- (1) 県教育委員会が、5月中旬に「ふくいスマートルール」パンフレットを作成して、各関係機関へ送付。
- (2) 各関係機関においては、総会や会合を通じて、会員や家庭に周知。「ふくいスマートルール」の推進運動を具体的に展開。
- (3) 11月頃を目途に、各関係機関で取り組んだ「ふくいスマートルール」推進運動の具体的内容を、当協議会で報告。それらをまとめて広報発信。
- (4) 児童生徒自身が、インターネットの利用やスマホの利用について考える活動を推進。特に高校生については「ふくいスマートルール」推進運動と合わせて、高校生等がスマホ依存から脱却し、スマホ以外の時間の持ち方を検討する活動を推進。（別紙参照）

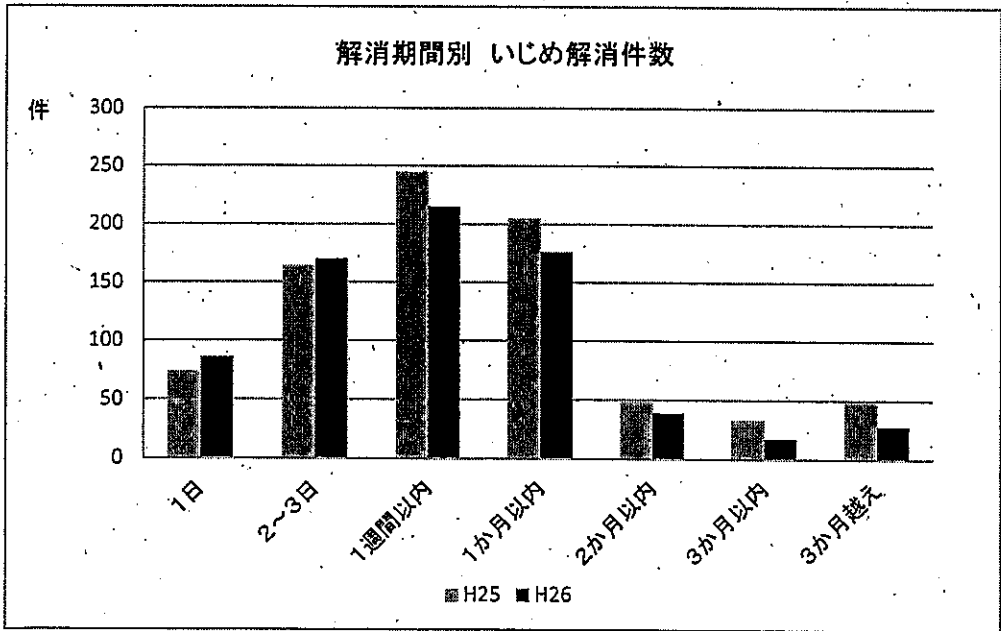
本県におけるいじめの状況(H26)について

1 認知件数の推移



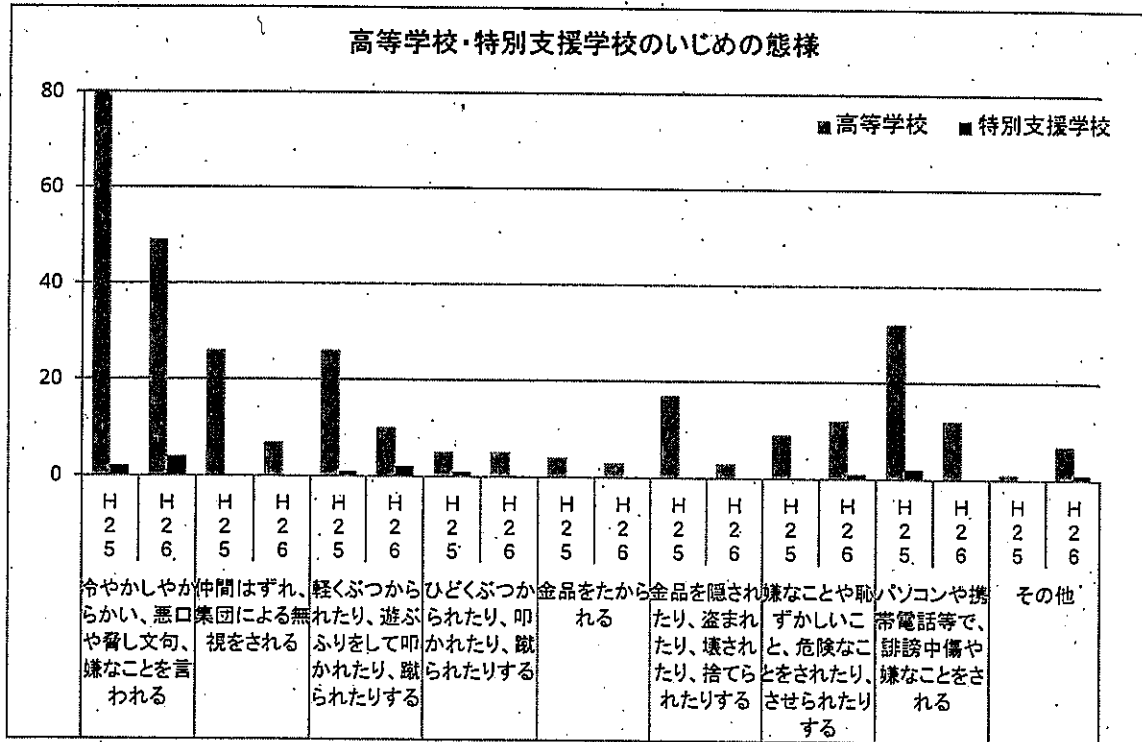
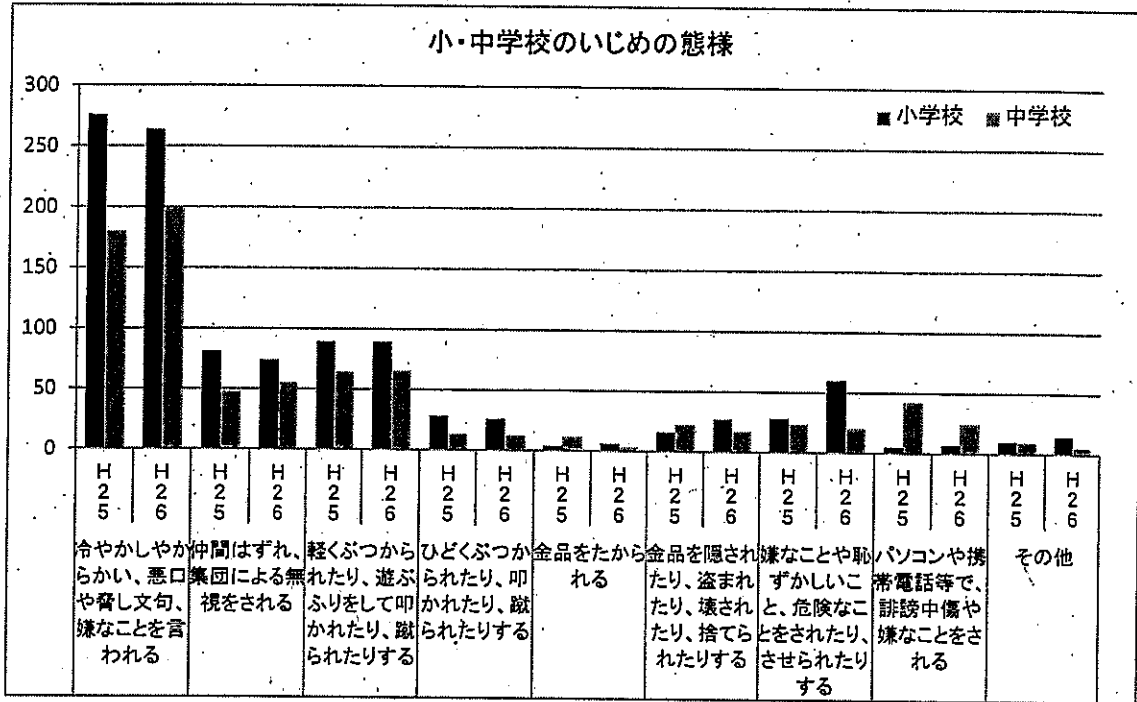
○いじめの認知件数は減少傾向。

2 いじめの解消までの期間



○いじめを認知した時点から、1か月以内に全体の約9割が解消。

3 いじめの態様



○「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」という項目が、約67%を占め、特に小・中学校に多い。

○中学校、高等学校で「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」の項目が、減少傾向。

インターネット上のいじめ等の現状と課題について

1 本県におけるインターネット端末等の利用状況

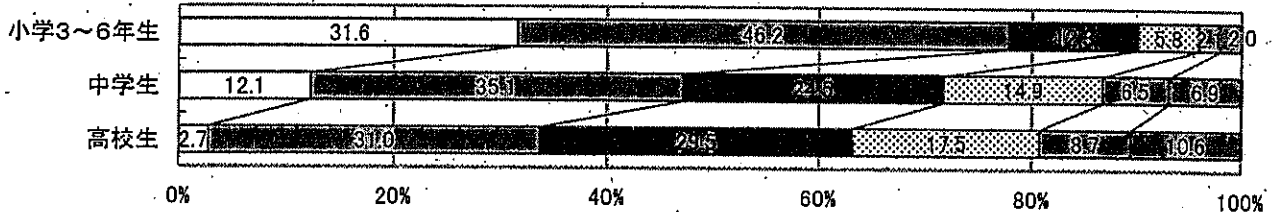
(1) スマートフォン、携帯電話の所持率 [H26本県独自調査]

	小学生(3~6年)	中学生	高校生
スマートフォン	7.3%	13.7%	98.1%
携帯電話	17.8%※	7.0%	

※小学生が所持する携帯電話は、GPS等の安心機能付が多い。
 ・なお、小中学生の「スマートフォン」と「携帯電話」は複数回答

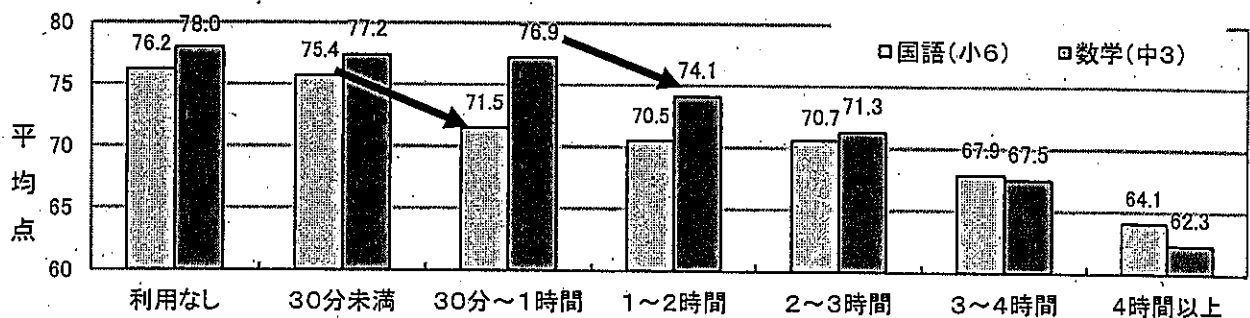
(2) 平日1日あたりのインターネット利用時間 ※本県独自調査(小中:H26.11、高:H26.7 実施)

□全くしない □1時間未満 □1~2時間 □2~3時間 □3~4時間 □4時間以上



■「1時間以上」利用している割合は、小学生22.2%、中学生52.8%、高校生66.3%
 ■「3時間以上」利用している割合は、小学生4.1%、中学生13.4%、高校生19.3%

(3) スマホやネットの使用と学力との相関関係 ※本県「全国学力・学習状況調査」(H26.4 実施)



■スマホやネットの使用時間が長くなるほど、点数が低くなる傾向にある。
 ■小学生は30分以上、中学生は1時間以上使うと、点数の低下が顕著である。

2 本県におけるネットいじめ等の状況

(1) ネットいじめの認知件数等

○「パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」割合

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
H24県	11件(1.8%)	26件(5.6%)	25件(15.2%)	0件(0%)	62件(5.0%)
H25県	5件(1.2%)	42件(13.9%)	32件(23.5%)	2件(50.0%)	81件(9.5%)
H26県	7件(1.7%)	24件(8.9%)	12件(13.3%)	0件(0%)	43件(5.6%)
H25国	1,711件(1.4%)	4,835件(8.8%)	2,176件(19.7%)	65件(8.5%)	8,787件(4.7%)

※()内の割合は、いじめ認知件数に占める割合

「ふくいスマートルール」推進運動

いじめ問題対策連絡協議会

わたしたち みんなですすめる「ふくいスマートルール」

- 1 ・インターネット上に、人の嫌がることや悪口を書き込みません。
・インターネット上に、名前・住所・顔写真などの個人情報を安易に載せません。
- 2 ・SNSやメールおよびゲーム等の通信は、夜9時以降は行いません。
(緊急なときは除く)。
・SNSやメールおよびゲーム等の通信は、1日1時間までとします。
- 3 ・インターネットやSNSのより良い使い方を考えます。
・インターネットやSNSでいじめ等の問題が起こったら、親や先生などに相談します。

大人もいっしょに考える「ふくいスマートルール」推進運動

- 1 家庭、学校、地域がインターネットのより良い利用法を一緒に考え、大人が率先して、「ふくいスマートルール」を子どもたちと一緒に実行します。
- 2 家庭では、使用時間や置き場所など、わが家のルールをつくります。
・月に一度は、家族で、利用状況などルールを守る話し合いをします。
・有害サイトによる被害を防ぐため、フィルタリングの設定を進めます。
- 3 学校では、児童生徒と教員が、インターネットのより良い利用を考える場をつくります。
・教員は、日ごろから、ネットいじめやトラブルなどを把握します。
・教員は、インターネットの使い方や指導について研修します。
- 4 地域では、「ふくいスマートルール」に基づいたスマホやケータイのルールやマナーを呼びかけます。

「高校生によるスマホ依存からの脱出タスクフォース」の展開

①各高校の生徒会に「高校生によるスマホ依存からの脱出タスクフォース」を設置（5月）

- ・各学年や各クラスにおいて、スマホ依存からの解放、スマホ以外の時間の持ち方・過ごし方・楽しみの発見、スマホとの上手な付き合い方などの課題について検討。意見を集約し、対策案を決定。
- ・生徒総会などで、全生徒に発信。

②県内5地区において、地区協議会を設置（6月）

- ・各学校の生徒会タスクフォース代表者による地区協議会において、学校を超えた共同活動策を協議。
- ・地区協議会での共同活動策を、各高校において全生徒に発信。

③「脱スマホ高校生サミット」の開催（8月夏季休業中）

- ・県内全ての高校生が、スマホ依存からの脱出を協議。実践活動等の発表を行い、共同宣言を採択。